

ユーシン精機を支える3つの柱

ロボット



〈取出口ロボット〉



〈パレタイジングロボット〉

プラスチック成形品は、そのおよそ2/3が「射出成形」という工程で作られています。高温で溶かしたプラスチックを金型に注入した後、冷却して成形品を製造します。この金型から成形品を取り出す専用ロボットのことを「取出口ロボット」と呼んでおり、現在多くの射出成形機に搭載され、様々な製品の生産現場で活躍しています。

ユーシン精機の取出口ロボットは、スマートフォン内部の小

型部品から自動車バンパーなどの大型部品まで幅広く対応しています。当社はこれまで、ロボットのスピードを追求し、様々な業界初の技術を積極的に導入してきました。(参照 p5、p6) また、取出口ロボットの機構を転用したパレタイジングロボットを、食品業界などプラスチック業界以外の新しいユーザーにも販売し、パレットにダンボールなどを積む作業の自動化に貢献しています。

特注機



〈大容量タイプストック〉



〈ゲートカットストックシステム〉

成形品取出し前後の各工程の自動化をサポートする機器を、特注機として提供しています。ストックシステムは、取出口ロボットが取り出した製品を一時的に保管する装置であり、昼夜にわたる長時間の連続成形などをサポートします。ゲート

カットシステムは、射出成形の自動化課題であるゲートカットを、高速・高精度に解決します。他にも、インサート成形自動化システムや自動包装システムなど各種自動化システムを特注機として扱っています。

部品・保守サービス



ロボット・特注機導入後も安心してご利用いただけるよう、日本全国また世界各地に充実した部品・保守サービス体制を構築しています。ロボットの消耗品交換などに迅速に対

応し、お客様の生産を止めない、質の高い保守サービスを展開しています。